



～誰一人 取り残さない 持続可能な社会の実現に向けて～

4月

- 「食品の安全パンフレット」第2版 完成
- 4月4週：宅配(共同購入)の仕組みを使ったフードドライブ
- 新型コロナ感染拡大により機関会議を除く組合員活動の多くが中止される



フードドライブ商品は、各地域理事会で相談し、地域の社会福祉協議会へ贈呈しました。6月3日に白鷹町社会福祉協議会に贈呈(西置賜生協)

7月

- 第1回「班長・組合員のつどい おうちでつどいSTAY HOME」
- 産直交流会 銀山アスパラ&まるひろ園芸



7月21日、今年度第1回目の産直交流会は、銀山アスパラとまるひろ園芸出荷組合。まるひろ園芸とは今年度産直提携50周年となりました。

5月

- 「～とともにつくる 持続可能な未来～2030年ビジョン」完成
- 組合員集会&議案説明会
- 山形生協「米つくり隊」田植え



5月29日「米つくり隊」では、村木沢あじさい営農組合さんの田んぼをお借りして、田植えを行うことが出来ました。(山形生協)

8月

- 積み立て増資キャンペーン
- 各地域の平和のつどい
- 8月4～5日：日本生協連「ピースアクションinヒロシマon-line」
- 山形県が新型コロナウイルス「感染拡大防止特別集中期間」を発出し、組合員活動を中止



今年度も、ヒロシマ平和行動への派遣は見送られましたが、各地域で平和のつどいが開催されました。8月6日、他団体と共催の「原爆写真展」開会式(天童生協)

6月

- 第42回共立社通常総代会



今年度も新型コロナ感染拡大防止のため、必要最小限の人数で、6月15日に山形テルサを会場に総代会を開催しました。

9月

- 「いっしょにCOOP」リニューアル10周年・通算100号記念特別企画「池田オスエさん原画展」



共立社の広報誌「いっしょにCOOP」がリニューアル10周年・通算100号を迎えました。そのことを記念して、酒田生協組合員池田オスエさんの原画展を10地域巡回で開催中。たくさんの方にご覧いただいています。特に、酒田会場には200名を超える組合員が来場しました。
※鶴岡地域と山形地域は、山形県の感染防止特別集中期間中の為、11月に延期しました。

より多くの組合員が参加し、生協の輪が広がる活動

県内でも地域によって感染状況が異なりましたが、4～5月・8～9月の期間は活動中止となる地域が多くあり、今年度も新型コロナウイルス感染症防止と活動の両立を目指しました。

こぶ委員会活動

●新たな委員会結成や、委員をお誘いすることはできませんでしたが、感染防止対策をとりながら新しいかたちの活動に挑戦しました。

●お取引様によるオンライン学習会や、YouTube配信を活用した活動が増えています。

●「組合員運営組織のめざすべき姿」の実現に向け、地域理事会が中心となり、こぶ委員長会議を開催し、コロナ禍での活動のすめ方について話し合いました。

おじゃこが

●第1回「班長・組合員のつどい」は、昨年に引き続き、集まらない形での運営方法「おうちでつどい STAY HOME」として開催しました。

●「おうちでつどい STAY HOME」には、426名（前年485名）、こぶ委員会のつどい（おうちでつどい STAY HOME）に取り組み、新たな層の組合員とのつながりを広げます。

平和を守る運動

平和の取り組み

●「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出」を求める請願書を山形県議会に提出しました。（9/15付）

●「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」に取り組みつどいや夏の平和展の他、理事・こぶ委員・各事業所の職員の呼び掛けにより、目標5,000筆に

●各地域生協で、夏の平和展や原爆展を開催しました。原爆パネルの展示の他、DVDやYouTubeの視聴、被爆体験者と高校生の共同制作による原爆の絵の展示など次世代に継承する展示内容も行いました。

●平和募金は、OCR募金で104万6,100円のご協力がありました。（9月度まで）



▲南陽生協「原爆展」

地域の期待に応える事業活動

センター事業

●自宅まで来て欲しいという組合員の要望に応えるため、3月にしるにし、6月に切添・しるにし、9月に千石・ひがしはらセンターに、計5台の小型移動店舗「せいきょう便」を増車しました。

●「おじゃこが」の教育と安全運転の徹底のための教育にも力を入れます。

●コロナ禍の影響により、組合員のまとめ買い傾向が続き、来店回



▲千石センター移動店舗「せいきょう便」出発式
安全を祈願し、4本のタイヤにお神酒をかけました

宅配事業

●分散して集客日を作ることで、利用単価の高止まりが続いています。

●これまで毎月15日開催の「いいコープ」を日曜日に移行するなどの販売促進企画の見直しを行ったことで、日にちを

「いつしよにCOOPの表紙絵 原画展」四季の花と果実を描く」の開催が決まりました。9月から2カ月間で10地域を巡回展示します。（山形県の感染防止特別集中期間）にあたる鶴岡と山形は11月に延期しました。



▲「いつしよにCOOP」表紙絵を描く、酒田生協組合員 池田オスエさんの原画展を開催中です。

2021年度・上期の到達と活動報告 「いつまでも住みつづけられるまちづくりを協同の力で実現しよう」

1. 「いつまでも住みつづけられるまちづくり」「誰一人取り残さない社会」実現のために、事業と組合員活動を通じてSDGsの目標達成に貢献していきます
2. 多様な年代と生活スタイルの組合員が参加できる組合員活動を広げます
3. 「食の安全」の実現のために生協共立社が取り組んでいることについて、職員と組合員の学習をすすめます
4. 産直、地産地消、健康、便利にこだわった商品の品揃えを充実させます
5. 組合員の生活様式と社会環境の変化に対応する事業を構築します



▲山形生協「山形大学生元気100倍応援バントリー」
山生大生とも協力し合い組合員の善意を大学生に届けました

2021年度基本方針

組織の到達状況としては、組合員数16万2,272人、純増1,522人でした。前年上期よりもやや遅れていました。出資金は41億1,837万円、純増で1億7,798万円です。ほぼ昨年並みの純増となっています。昨年度に続いて、今年度も「積み立て増資」の集中的なおすすめに取り組み、新たに1,000人以上の組合員から参加いただき、多くの方が毎月の増資額を増やされました。一方で、コロナ禍によって生活が不安定になっている組合員も増えており、期中減資の増加に繋がっています。上期の事業状況については、新型コロナウイルスの感染拡大が利用拡大に繋がるともほぼなくなり、センター事業の供給高は2019年度水準に近づきつつあります。帰省客やハレの日の利用が読みにくいこと、精肉全般や鶏卵の相場が高止まりしていること、天候不順で農産品の価格が安定しないことなどで、G.P.率の予算乖離が広がりました。収入であるG.P.高は、供給高以上に予算から大きく落としています。宅配事業も前年度のような利用の伸びはなくなってきましたが、昨年コロナ禍の中で新たなにもしくは再開で利用を始めた組合員の多くが、そのまま利用を継続しています。結果としてはほぼ前年並みの実績を維持しており、予算を大きく超過しています。コロナ禍で組合員活動が制限されている状態は昨年と変わりありませんが、それぞれの地域生協で工夫を重ねて「集まらない」活動が少しずつ広がっています。下期も、感染予防対策の徹底は継続しつつ、事業と組合員活動をすすめていきます。

食の安全・安心と豊かな食生活を実現

食の安全・安心

●共立社の食品の安全に関する政策や自主基準をまとめた「食品の安全パンフレット」（第2版）が完成し、下期から学習を進めます。こぶ委員会ではDVDを活用しながら、CO・OP商品の品質管理やゲノム編集食品について学習しました。

産直活動

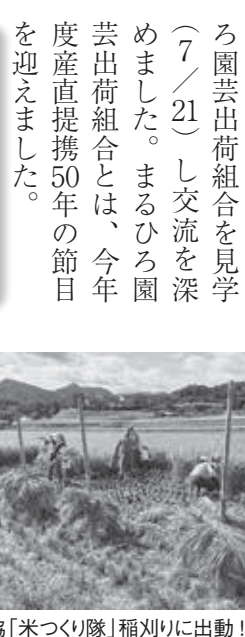
●大谷果樹組合援交交流会（6/10）に、組合員・職員20名が参加し、摘果のお手伝いを行い、4月の霜被害等についてお聞きしました。

●第1回産直交流会 銀山アスパラとまるひ



▲今年、産直50周年を迎える「まるひる園芸出荷組合」との交流会

食育活動



▲山形生協「米づくり隊」稲刈りに出動!!

●鶴岡と山形地域で「米作り体験交流会」を開催しました。鶴岡地域では、コロナ感染拡大の影響で4月・オリエンテーション、5月・田植え作業を中止しましたが、その間の活動をホームページやフェイスブックでお伝えしました。6月の除草作業、7月の追肥作業は開催できました。山形地域の「米づくり隊」では、5月に田植え作業を実施しました。また、バケツで稲を育てる「バケツ稲」を呼びかけ、取り組ん

●「米作り体験交流会」を開催しました。鶴岡地域では、コロナ感染拡大の影響で4月・オリエンテーション、5月・田植え作業を中止しましたが、その間の活動をホームページやフェイスブックでお伝えしました。6月の除草作業、7月の追肥作業は開催できました。山形地域の「米づくり隊」では、5月に田植え作業を実施しました。また、バケツで稲を育てる「バケツ稲」を呼びかけ、取り組ん

地域の支え合いで、くらしを守る運動

フードバンク・フードドライブ



▲酒田生協 くらしのセンターでの「フードドライブ」

●コープフードバンク個人サポーターは149名210口（9/20現在）です。

●宅配事業の仕組みを使ったフードドライブを4月4週に実施し、全体で1,012名・2,487個（前回…366名・752個）の協力があり、地域の社会福祉協議会（15団体）に贈呈しました。

●酒田地域では、こぶあコープ酒田（7/29）、コープなかのくちセンター（8/24）を会場にフードドライブを実施し、酒田市の社会福祉協議会に贈呈しました。

居場所づくり

●地域の居場所づくりの取り組みは、コロナ禍の影響を大きく受け、感染拡大期間は活動中止となりました。

●第1回居場所づくり委員会をリモート開催し、9会場で組合員14名、職員22名が参加しました。各地域の活動報告と学習講演として、居場所と学びの場づくり「ぶらいず」相談役

支え合いの活動

●くらしのたすけあいの会では、4月より料金改訂を行いました。コロナ禍で中止せざるを得ない活動もありましたが、可能な範囲で援助活動に取り組みました。

●鶴岡地域の「おたがいさま」も活動できない状況が続きましたが、活動再開に向け話し合いが始まりました。

葬祭事業

●事業開始が半年遅れた、「こぶ協同の苑 山形」が、昨年末に開設しました。今後は、村山地域での宣伝に力を入れます。

介護福祉事業

●鶴岡地域では、鶴岡市から「住宅改修・福祉用具選定等に係る同行訪問による相談事業」への協力依頼があり、事業者として登録しました。今後、第3者の立場で契約内容が



▲「こぶ協同の苑 山形」

組合員へのお役立ちをすすめました

●適切などうか、利用者の相談に協力します。

●新型コロナウイルス感染拡大で、利用者のいる施設訪問に制限があり、対応に苦勞しました。

●村山地域の利用拡大のため、お知らせ活動を強めます。

下期の課題

●「こぶ協同の苑 山形」が、昨年末に開設しました。今後は、村山地域での宣伝に力を入れます。



2021年度 上期：組織到達と事業状況の報告

2021年度上期は 組合員が1,522人増加し、16万2,272人になりました。年間目標の208.5%です。

		共立社合計	鶴岡生協	新庄生協	北村山生協	山形生協	天童生協	酒田生協	南陽生協	寒河江生協	西置賜生協	コープよねざわ	本部、その他
組合員数	純増年間(人)	730	100	20	30	200	80	100	70	20	70	40	—
	到達(人)	1,522	199	70	134	585	44	226	84	70	77	63	—30
	到達率	208.5%	199.0%	350.0%	446.7%	292.5%	55.0%	226.0%	120.0%	350.0%	110.0%	157.5%	—
	到達組合員数(人)	162,272	39,643	8,347	7,277	48,664	4,909	24,529	6,038	4,840	5,771	4,524	7,730
	世帯数	401,544	55,001	24,676	31,219	122,566	22,929	44,161	22,779	26,150	18,603	33,460	—
	組織率	40.4%	72.1%	33.8%	23.3%	39.7%	21.4%	55.5%	26.5%	18.5%	31.0%	13.5%	—
出資金	純増年間計画(円)	1億3,100万	3,000万	500万	500万	4,500万	1,400万	1,000万	500万	500万	800万	400万	—
	到達(円)	1億7,798万	4,185万	1,088万	1,475万	4,532万	1,437万	2,144万	833万	1,024万	450万	493万	138万
	到達率	135.9%	139.5%	217.6%	294.9%	100.7%	102.6%	214.4%	166.5%	204.9%	56.2%	123.2%	—
	到達出資金(円)	41億1,837万	10億8,318万	3億1,589万	3億2,871万	9億8,210万	2億7,323万	5億1,992万	2億1,960万	1億7,957万	1億3,871万	6,941万	805万
	平均出資金(円)	25,379	27,323	37,845	45,171	20,181	55,660	21,196	36,370	37,102	24,035	15,342	1,042
積立増資者	参加者(純増)目標(人)	550	40	10	10	400	20	10	10	10	30	10	0
	到達(人)	1,124	120	61	119	373	56	98	69	83	42	95	8
	年間計画差	574	80	51	109	-27	36	88	59	73	12	85	8

(注1) 本部組合員数については、住所不明組合員です。
(注2) 世帯数は、山形県「山形県の人口と世帯数(推計)」の「市町村別人口と世帯数(2021年3月1日)」によります。
(注3) 出資金については、各金額について万円未満を切り捨てて表示しています。よって各生協の合計額と共立社合計欄の金額は一致しません。

組織の到達点

- (1) 上期は1,522人の新しい組合員を迎えることが出来ました。新型コロナウイルス感染の不安が続く中、安全安心を願い生協への加入が増えました。
- (2) 出資金は、昨年に引続き「積立増資」の取り組みに協力を頂き、新たに1,124人の組合員が積立増資に参加いただきました。9月度に共済割戻金を出資金に振り替えるなど、1億7,798万円の増加、前年より1億7,610万円の増加となりました。引き続き、出資金の大切さを伝え、「誰もがめざす出資金5万円」を目標に、より多くの組合員からの出資金の増資活動にご協力をお願いいたします。



増資へのご協力をおねがいします!

生協はより良い暮らしを実現するため、組合員自らが出資・利用・運営する組織です。出資金は商品の仕入れから設備投資等、運営の資金として「生協を支える力」となります。ぜひ、増資の取り組みにご協力をお願いします。

- 【増資の方法】**
- ①**積立増資** お申込みいただくと毎月一定の金額(1口500円から)が、口座振替されます。
 - ②**OCR増資** OCR注文用紙の「増資申し込み欄」にて、数量1で500円の増資となります。
 - ③**レジ増資** ぐらしのセンターでお買い物の際に、お申し出金額を増資できます。

事業・財務の特徴

損益計算書	自2021年3月21日 至2021年9月20日		(単位:円)	
	実績	予算	前年	予算比
供給高	103億5,578万	101億3,777万	105億2,319万	102.2%
供給剰余金	28億2,642万	27億8,555万	29億0,637万	101.5%
その他事業収入	2億1,950万	2億2,164万	2億1,673万	99.0%
事業総剰余金	30億4,592万	30億0,718万	31億2,310万	101.3%
事業経費合計	28億2,363万	28億4,364万	28億2,487万	99.3%
人件費	13億6,536万	13億5,441万	13億6,003万	100.8%
物件費	14億5,827万	14億8,923万	14億6,484万	97.9%
事業剰余金	2億2,229万	1億6,354万	2億9,823万	135.9%
事業外収益	4,804万	3,145万	3,129万	152.7%
事業外費用	530万	395万	843万	134.1%
経常剰余金	2億6,503万	1億9,104万	3億2,109万	138.7%
特別収支	23万	—	—	—
当期剰余金	2億6,526万	1億9,104万	3億2,109万	138.9%

※数値は万円未満を切り捨てています。 ※特別収支は固定資産の売却によるものです。

- (1) 供給高は、予算比102.2%と予算を達成しました。引き続き、コロナ感染拡大による不安から、宅配事業で大幅超過達成となりました。サービス事業で協同の苑山形の事業も開始しました。再生可能エネルギーの普及に取り組んでいる電気小売事業では、供給高4,922万円、前年比103.1%の伸張となりました。
- (2) 事業経費では、予算比99.3%と予算内の執行となっています。
- (3) 経常剰余金は、2億6,503万円と予算より7,399万円の超過達成となりました。
- (4) 純資産(組合員資本)は、前年の9月よりも4億3,593万円と大きく増加しました。



お問い合わせ
共立社コールセンター 0120-916-244